



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥村英夫
 (氏名) 加藤祐蔵

TEL 03-6418-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	450	9.3	△322	—	△346	—	△345	—
27年3月期第2四半期	412	△7.2	△2	—	10	389.7	52	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △345百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△4.05	—
27年3月期第2四半期	0.64	0.64

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	5,980	3,474	58.1	40.67		
27年3月期	6,142	4,011	62.2	44.72		

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,474百万円 27年3月期 3,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,100	—	△440	—	△480	—	△480	—	△5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) ー、除外 1社 (社名) 伊豆スカイラインカントリー株式会社
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	85,457,466 株	27年3月期	85,457,466 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	32,772 株	27年3月期	32,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	85,425,100 株	27年3月期2Q	82,180,088 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の減速など先行き不透明な状況が続いているものの、政府や日銀による経済・金融政策等を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、東京都港区西麻布のテナントビル及び住居の安定した賃料収入を得ることができ、売上高は前年同四半期に比べ13.7%増加し9千7百万円、営業利益は前年同四半期に比べ36.2%増加し7千4百万円となりました。

繊維事業では、第1四半期は夏物・盛夏物の別注や現物セール用受注を多く受けることができ、第2四半期はアパレル大手の別注を中心とした秋物の受注を多く獲得しました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ42.1%増加し4千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ188.2%増加し4百万円となりました。

化粧品事業では、オールインワン美容液やホテル向けアメニティ商品の受注が前年に引き続き好調であり、犬用のシャンプー・歯磨きの受注も伸ばすことができました。その結果、売上高は前年同四半期に比べ6.8%増加し1億3千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ35.1%増加し1千1百万円となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー(株)にてゴルフ場運営を行っておりましたが、平成27年8月1日付で当社が保有する同社の株式をすべて譲渡し、売上高は9千8百万円、営業利益は4百万円となりました。

平成27年8月より(株)テルマー湯にて開始した温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町の温浴施設『テルマー湯』のオープンが約1ヶ月遅れたこと、来館者数が想定を大幅に下回ったことなどの結果、売上高は7千3百万円、営業損失3億3千3百万円となりました。なお、『テルマー湯』では平成27年11月13日現在、会員数が2万人を突破し(新規会員数は1日平均約250名増加)、新規・リピーターともに来館者数は徐々に増加しております。今後は宣伝・広告を強化し、集客に努めてまいります。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は4億5千万円(前年同四半期比9.3%増)、営業損失3億2千2百万円(前年同四半期は営業損失2百万円)、経常損失3億4千6百万円(前年同四半期は経常利益1千万円)、親会社株式に帰属する四半期純損失3億4千5百万円(前年同四半期は親会社株式に帰属する四半期純利益5千2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比較して1億6千2百万円減少し、59億8千万円となりました。負債は、長期借入金の増加などにより前連結会計年度末と比較して3億7千4百万円増加し、25億5百万円となりました。純資産は、四半期純損失のため前連結会計年度末と比較して5億3千7百万円減少し、34億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ、4億2千5百万円減少し、1億4千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億6千4百万円(前年同四半期は2千7百万円の獲得)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純損失の計上や未収消費税等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億6千7百万円(前年同四半期は6億1千1百万円の使用)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、6億6百万円(前年同四半期は2億5千3百万円の獲得)となりました。これは、主に長期借入れによる収入であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日公表の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において伊豆スカイラインカンントリー株式会社の全保有株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、
「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び
「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,848	142,029
受取手形及び売掛金	128,925	107,969
商品及び製品	13,107	7,413
仕掛品	5,144	3,106
原材料及び貯蔵品	35,866	34,908
販売用不動産	310,634	310,404
短期貸付金	30,218	—
その他	10,976	161,084
貸倒引当金	△4,152	△4,225
流動資産合計	1,098,570	762,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	454,858	2,906,917
機械装置及び運搬具(純額)	38,230	10,048
工具、器具及び備品(純額)	15,454	107,697
コース勘定	362,224	—
土地	2,192,617	1,940,115
建設仮勘定	1,727,312	—
有形固定資産合計	4,790,699	4,964,779
無形固定資産		
のれん	2,340	—
借地権	83,445	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	656	2,607
無形固定資産合計	88,529	88,140
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	176,862	163,835
貸倒引当金	△12,282	—
投資その他の資産合計	165,180	164,435
固定資産合計	5,044,409	5,217,355
資産合計	6,142,979	5,980,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,270	29,163
短期借入金	400,000	—
1年内返済予定の長期借入金	483,568	171,924
未払法人税等	7,013	6,170
賞与引当金	—	4,330
未払金	35,845	152,387
その他	75,933	40,100
流動負債合計	1,036,631	404,076
固定負債		
長期借入金	494,846	1,792,368
資産除去債務	147,546	151,050
再評価に係る繰延税金負債	41,601	41,601
繰延税金負債	47,484	48,060
長期預り金	325,301	68,501
その他	37,718	—
固定負債合計	1,094,499	2,101,581
負債合計	2,131,130	2,505,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,527,811	3,527,811
資本剰余金	244,825	202,102
利益剰余金	△37,123	△340,384
自己株式	△2,078	△2,181
株主資本合計	3,733,434	3,387,348
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	87,037	87,037
その他の包括利益累計額合計	87,037	87,037
非支配株主持分	191,376	—
純資産合計	4,011,848	3,474,386
負債純資産合計	6,142,979	5,980,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	412,449	450,872
売上原価	263,427	593,402
売上総利益又は売上総損失(△)	149,022	△142,530
販売費及び一般管理費	151,512	179,935
営業損失(△)	△2,490	△322,466
営業外収益		
受取利息	2,468	2,254
受取配当金	9	9
貸倒引当金戻入額	983	2,801
受取保険金	20,000	—
その他	4,283	4,014
営業外収益合計	27,746	9,081
営業外費用		
支払利息	12,527	19,583
減価償却費	637	588
支払手数料	—	12,962
その他	2,043	378
営業外費用合計	15,208	33,513
経常利益又は経常損失(△)	10,047	△346,898
特別利益		
子会社株式売却益	—	3,087
負ののれん発生益	19,894	—
預託金償還益	43,632	—
特別利益合計	63,526	3,087
特別損失		
固定資産除却損	192	39
特別損失合計	192	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	73,382	△343,850
法人税、住民税及び事業税	1,190	1,454
法人税等調整額	△11	575
法人税等合計	1,178	2,029
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,203	△345,880
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,621	103
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	52,582	△345,983

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	72,203	△345,880
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	72,203	△345,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,582	△345,983
非支配株主に係る四半期包括利益	19,621	103

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	73,382	△343,850
減価償却費	34,287	62,112
のれん償却額	2,340	1,560
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△924	802
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	4,330
受取利息及び受取配当金	△2,478	△2,264
支払利息	12,527	19,583
有形固定資産除却損	0	39
無形固定資産除却損	192	—
子会社株式売却損益(△は益)	—	△3,087
負ののれん発生益	△19,894	—
売上債権の増減額(△は増加)	28,720	△855
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,574	3,316
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,228	△2,944
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,920	△11,162
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,947	△148,402
長期預り金の増減額(△は減少)	△66,780	△1,020
その他の資産の増減額(△は増加)	△2,609	96,585
その他の負債の増減額(△は減少)	△25,599	81,820
小計	37,227	△243,435
利息及び配当金の受取額	2,453	2,255
利息の支払額	△12,545	△20,901
法人税等の還付額	1,891	—
法人税等の支払額	△2,013	△2,490
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,013	△264,572
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△591,048	△1,032,034
無形固定資産の取得による支出	△600	△2,566
子会社株式の取得による支出	△20,874	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	237,093
貸付金の回収による収入	645	30,218
差入保証金の回収による収入	442	—
出資金の回収による収入	30	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△611,405	△767,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△400,000
長期借入れによる収入	—	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△41,784	△690,810
リース債務の返済による支出	△4,324	△3,045
株式の発行による収入	299,880	—
自己株式の取得による支出	—	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	253,771	606,042
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△330,621	△425,818
現金及び現金同等物の期首残高	1,117,442	567,848
現金及び現金同等物の四半期末残高	786,821	142,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社が平成25年3月18日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成26年6月24日の権利行使をもって当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が1億5千3百万円、資本準備金が1億5千3百万円それぞれ増加しております。また、平成26年6月27日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金5千8百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が1億5千3百万円、資本準備金が9千4百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が35億2千7百万円、資本準備金が2億4千4百万円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

平成27年6月26日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金4千2百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間において資本準備金が4千2百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	85,454	32,288	127,100	167,606	412,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	85,454	32,288	127,100	167,606	412,449
セグメント利益	54,669	1,541	8,431	12,615	77,257

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で595,818千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	77,257
のれんの償却額	△2,340
全社費用(注)	△77,407
四半期連結損益計算書の営業損失	△2,490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	温浴	合計
売上高						
外部顧客への売上高	97,169	45,892	135,773	98,316	73,720	450,872
セグメント間の内部売上高 又は振替高	475	—	36	—	—	511
計	97,644	45,892	135,809	98,316	73,720	451,383
セグメント利益又は損失(△)	74,441	4,442	11,389	4,023	△333,525	△239,228

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

- (1) 当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で2,409,977千円減少しております。これは主に、東京都新宿区に建設した温浴施設の建設費用を「温浴」に振り替えたことによるものであります。
- (2) 当第2四半期連結会計期間において、新たに「温浴」を報告セグメントに加えております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「温浴」で3,375,471千円増加しております。
- (3) 当第2四半期連結会計期間において、報告セグメントの資産の金額は「ゴルフ場」で872,727千円減少しております。これは、伊豆スカイラインカントリー株式会社の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことによるものであります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは新たに温浴事業を開始したことに伴い、当第2四半期連結会計期間から「温浴」を報告セグメントに追加しております。

4. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	△239,228
のれんの償却額	△1,560
全社費用(注)	△81,677
四半期連結損益計算書の営業損失	△322,466

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。